

さるびあ通信

想像力とは思いやり

八幡浜市教育委員会教育長 井上 靖

最初に、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。また、医療や介護・福祉に携わる方々はもとより、この困難な状況下、身体を張って地域の生活基盤を支えてこられた皆さんに、改めて感謝申し上げます。



さて、この感染症により、新しい用語や普段あまり使うことのない言葉がたくさん登場しました。そして、「オンライン授業」とか「9月入学」などが、大きな話題となりました。確かに第二波・第三波を考えたとき、「オンライン授業」の準備をしておくことは大切ですし、「9月入学」について論議をすることを、否定しようとは思いません。

ただ、私が危惧するのは、そういう報道がなされたとき、それがまるで最高のものであるような捉え方をしてしまう空気があったのではないかということです。

では、市内小・中学校の話題を三つ紹介します。いずれも臨時休業中の出来事です。

ある小学校では、教職員が手分けをして全家庭に文書を届けて回りました。すると、ポストには、子どもたちや保護者の皆さんから先生宛て、50通以上ものメッセージが置かれていたそうです。

また、分散登校中、下校後に教室等の消毒をしていることを知った保護者から、「私たちにできることはありませんか」という声掛けがあったという話も耳に入っています。

さらに、ある中学校では、休業中の課題に、『愛あるエピソード』を書いてくる」というものがありました。その文章には、家族や友だち、そして地域の皆さんとのきずなを改めて見つめ直した、感謝の気持ちが綴られていました。

「想像力とは思いやり」、「みんなが誰かを思いやりながら、一瞬一瞬を切実に生きる」。新しい生活様式が求められるなか、大切にしたい文化がそこにあります。

第1回八幡浜市いじめ対策委員会開催

令和2年度第1回八幡浜市いじめ対策委員会を6月29日(月)に市役所保内庁舎で開催いたしました。

まず、各ブロックから本年度の取組内容について報告がありました。あいさつ運動や子育て教室の開催、地域独自の活動など、どのブロックも充実した活動が予定されていることを感じました。そして、本年度の活動方針を決定するとともに、「いじめや虐待のないまちづくり」のための提言及び「情報通信機器の取扱いにかかわる提言」について確認しました。

今後とも、地域をあげて、子どもたちの健全育成のためにご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

今年度の活動方針(活動の方向)

- 「あいさつ運動」を継続し、いじめ根絶を目指す活動を行う。また、子どもの安全を確保し、児童虐待防止に努める。
- 児童生徒対象の「仲間作りアンケート」「学校生活アンケート」を実施し、いじめ問題の実態把握に努める。
- 「情報通信機器等の取扱いにかかわる提言～ネット社会を生きる子どもたちのために～」(裏面参照)の提言内容の実現を図るため、それぞれに学校や家庭で取り組む。
- 不登校又は不登校傾向児童生徒への適切な対応を進める。
 - ・学校と家庭や関係機関等との連携を図る。
 - ・『きりんカフェ』(登校しづらいお子さんをもつ保護者の会)を継続する。
- 心のふれあいやつながりを深める地域活動を進める。
- 集団生活を通して、よりよい人間関係づくりに努める。
- 安全確保に努める。(危機管理の徹底)

「ゲーム依存、ネット依存の実態と対応の在り方」(R2.6.29 いじめ問題対策講演会から)

講師 一般社団法人愛媛県ネットワーク協会 幸田 裕司 氏

【病的なインターネット依存の現状】 病的なインターネット依存が疑われる中高生は、この5年間で倍増し、全国で93万人と推計されることが、厚生労働省研究班の調査結果から明らかになった。インターネットの使い過ぎで発生した問題では「成績低下」と「授業中の居眠り」が際立って高かったほか、「遅刻」「友人とのトラブル」も多かった。「友人とのトラブル」は男子より女子に多く、女子中学生で特に多くなっている。



【女性になるSNS依存、男性になるゲーム依存】 SNS依存(きずな依存)は女性になりやすく、ゲーム依存は男性になりやすい傾向にある。特に女の子にとって、SNSでつながることは楽しい。情緒不安定な10代女子は、友達と終始つながることで安心感を得る。不安なときは慰められ、嬉しいときはともに喜び、SNSライフを楽しんでいる。しかし同時に、裏で悪口を言われているかもしれない、返事が遅いと嫌われるかもしれないという恐怖から、SNS依存に陥っていく。

一方のゲームへの依存は、スマホやゲーム機が自由に使える環境にあり、家族とうまくいかない、学業不振などの辛い状況から逃げるために逃避行動としてはまるパターンが多くみられる。そもそもゲーム自体が中毒性が高くできているため、一度はまると惰性で延々とやり続けてしまう場合が多い。

【基本的な生活習慣の確立が重要】 基本的な生活習慣とは、日常で繰り返される体にかかわる習慣のことをいい、睡眠、食事、トイレ、清潔、衣服の脱着の5つが上げられる。他にも、あいさつや礼儀など、社会で生きるためのルールに沿った社会的な生活習慣もある。基本的な生活習慣は、子どもが健康に育つための生活の基盤になるもので、家庭でもしつけの一環として、日ごろからの心がけが大切である。

広報「やわたはま」

つなぐ・つながる

市内の各小・中学校は、子どもたちの健全育成やいじめの未然防止等を図るために、様々なつながりを作り、深めてきました。それらの取組の中から、特色ある取組を紹介します。

- 9月 ---- 江戸岡小
- 10月 ---- 八代中
- 11月 ---- 愛宕中
- 12月 ---- 日土小
- 1月 ---- 宮内小
- 2月 ---- 千丈小
- 3月 ---- 喜須来小

お楽しみに!

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

青少年の非行・被害の防止について、国民の理解を深めるとともに、関係機関・団体と地域住民等とが相互に協力・連携して、SNS利用に係る子どもの性被害等の防止を最重点課題としつつ、有害環境への適切な対応等における広報啓発活動を集中的に実施する。(内閣府)

「いじめのないまちづくり」のための提言

八幡浜市いじめ対策委員会では、平成8年より「三層の情報環流方式」を活用した協議を重ねながら、「いじめのないまちづくり」のための提言を行ってきました。そして、いじめの防止のための様々な取組はもちろんのこと、「あいさつ運動の輪の広がり」「心のふれあいを深める地域活動」「情報通信機器等の取扱いにかかわる指導の充実」などの実践を進め、一定の成果を上げてきました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、児童生徒は、臨時休業や外出自粛を余儀なくされました。そして、ゲーム機やスマホ等の情報通信機器等への依存傾向が強くなった児童が増加しています。また、ストレスによる虐待や暴力、新型コロナウイルス感染症に起因する差別やいじめの問題も大きな社会問題となっています。新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見は決してあってはなりません。市いじめ対策委員会としても、シトラスリボン運動に賛同し、この輪を広げていくことを確認しました。

私たちは、これまでの取組や各ブロックの協議内容を踏まえて、いじめや児童虐待を未然に防ぐとともに、新型コロナウイルスの影響による様々な課題の解決を図るとともに、子どもたちの健全育成を図るため、次の提言をします。それぞれの場で、具体的な実践をお願いします。



〔シトラスリボン〕

八幡浜市いじめ対策委員会の提言

～市民みんなで、「いじめや虐待のないまちづくり」を進めましょう～

《八幡浜市民に向けて》

- (1) あいさつの響くまちをつくりましょう。
- (2) 子どもの安全を確保するとともに、児童虐待防止に努めましょう。
- (3) **新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見を解消しましょう。※シトラスリボン運動 (今年度新設)**

《家庭に向けて》

家庭教育の充実を図りましょう

- (1) 家庭内対話とふれあいを大切にしましょう。
- (2) 子どもに、情報通信機器の正しい使い方を教えましょう。

《学校に向けて》

集団生活を通して、よりよい人間関係をつくりましょう

- (1) いじめを積極的に認知して、早期解決を図りましょう。
- (2) 道徳教育の充実を図りましょう。
- (3) 子どもと向き合う時間を多くつくりましょう。

《地域社会に向けて》

地域の子どもは地域で育てましょう

- (1) 心のふれあいを深める地域活動を進めましょう。
- (2) 地域の伝統や文化を子どもたちに継承しましょう。
- (3) 安全な地域環境作りを進めましょう。

《行政に向けて》

「三層情報環流方式」を効果的に機能させていきます

- (1) 学校・家庭・地域社会の活動を側面から支援します。
- (2) 実態把握、課題を踏まえた施策を推進します。

情報通信機器等の取扱いにかかわる提言

～ネット社会を生きる子どもたちのために～

1 リアル社会の中で、友達や家族と楽しく充実した生活を送らせましょう。

- 家庭や地域、学校で、進んであいさつをしよう。
- 家族の団らん、友達との交流を大切にしよう。
- 夢中になること、打ち込めることを見付けよう。



子どもたちをネットやゲーム等依存から守るためには、日常生活の中に、居場所や活躍できる場を作ることが大切です。そのためには、八幡浜市で力を入れて取り組んできた「あいさつ運動」を一層進め、家族や友人とのふれあい等を豊かにしていくことが望まれます。

2 規則正しい生活をさせましょう。

- 「早寝早起き朝ごはん」で、規則正しい生活習慣を身に付けよう。
- 情報通信機器やゲーム機の利用は午後9時までには終わらせよう。

インターネットやゲーム機への依存傾向が強い子どもたちの中には、昼夜逆転や睡眠不足によって、学校や家庭生活に悪影響が出ているケースもあります。そこで、規則正しい生活習慣を徹底させることが大切です。平成26年度末に、八幡浜市いじめ対策委員会において、情報通信機器の利用は午後9時までにするを提言しました。この提言を再確認し、徹底していくことが求められます。

3 情報通信機器・ゲーム機利用のための「家庭のルール」を作りましょう。

- 情報通信機器やゲーム機を利用する場合は、時間の上限や使用場所を決めよう。
 - ※ ルールづくりのポイントとして、守れなかったらどうするかということを家族で相談しましょう。
 - ※ 「ノーゲーム・デー」や「ノーネット・デー」を決めて実行しましょう。
- フィルタリング、ペアレンタルコントロールを設定しよう。
 - ※ ペアレンタルコントロールとは、保護者が子どもの利用状況を把握したり安全管理を行ったりすることができる機能のことです。
- 困った問題が起きたら、すぐに大人や関係機関に相談しよう。

令和元年度に実施した調査において、大半の家庭ではルールを作っているものの、そのルールが1～2個しかないことが分かりました。子どもとしっかり相談して、家庭や子どもの実態に合ったルールを決めることや、ペアレンタルコントロールを設定して利用することが求められます。また、ブロックいじめ対策委員会の協議において、「ノー○○・デー」の取組が効果的であるとの報告もあります。特に、被害にあった時に迅速に対応できるよう、常日頃から気軽に相談できる関係を作っておくことも求められます。

スマートフォンやゲーム機等の安全・安心な利用のための提言

- 提言1 午後9時以降は使わない。
- 提言2 正しい使い方を知り、正しい行動をする。

【重点取組事項】

- 午後9時以降は使わない。
- 必ずフィルタリングを設定する。
- 家庭のルールを作る。



ひとりで悩んでいませんか？ お気軽にご相談ください。

☆ 電話相談・来室相談（八幡浜市教育委員会教育支援室）

☎ 0894-21-6864 月～金 8:30～17:00

☆ いじめ110番（八幡浜市教育委員会教育支援室）

☎ 0120-805-415 月～金 8:30～17:00

☆ いじめ相談ダイヤル24（愛媛県教育委員会）

☎ 0120-0-78310 24時間受付

☆ 警察安全相談（八幡浜警察署）

☎ 0894-22-0110 24時間受付

☆ こどもの人権110番（法務局）

☎ 0120-007-110 月～金 8:30～17:15

☆ 児童相談所全国共通ダイヤル（厚生労働省）

☎ 189（いちはやく）児童虐待通報電話 24時間受付

